



横浜訓盲学院 だより

第40号 (2017年7月号)

2017年6月29日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710

医療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833

茶の湯 — 五感をとおしてもてなしの心を伝える総合芸術



学院長 中澤 恵江

今年一月、重複障害を有する児童・生徒全員が茶の湯の体験をする機会に恵まれました。SHUHALLY (<https://shuhally.jp/>) 庵主松村宗亮先生が、さまざまな準備を整え、学院の児童・生徒たちのために教室内に茶席を設けてくださいました。

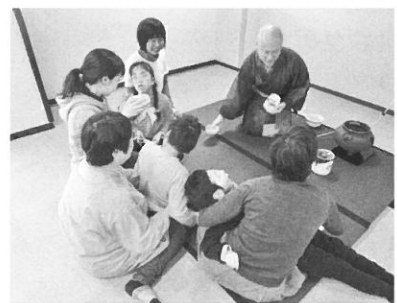
茶の湯とは何かについて十分な知識も理解もない私は、はたして本学院の児童・生徒たちが楽しむことのできるものなのか、不安がよぎりました。しかし、事前の調整のために松村先生が学院に来訪され、想定される課題についてお話をするうちに、その動じない佇まいと柔軟な発想から、不安は薄らいで行きました。

当日は、小教室におかれた二畳の黒畳がピンクのカーペットから際立ち、それを覆うように赤い大きな傘が開かれ、ゆかしいお香のかおりと共に、日常とは異なる時空が演出されていました。新しい味は子どもによっては不安をもたらすこともあるため、なじみのある味と香りのおいしいお干菓子を選んでくださいました。子どもたちが見て、聴いて、嗅いで、そして触れられるよう、至近距離でお点前をされ、何人かの生徒は松村先生の背中や手の動きをたしかめたり、お道具を触ったり、介助を受けながらお茶を点てることにも挑戦しました。甘くておいしいお干菓子の後には、薫り高く口当たりの優しいお抹茶がふるまわれました。好き嫌いのはっきりしている児童がおかわりを求めているのに驚きました。介助をしている教員たちにも同じお干菓子とお抹茶がふるまわれ、皆しばしその小さな空間で幸せな余韻に浸りました。

最後に、一人一人が表情や声やことばや手話で感謝を表し、松村先生はこの小さな世界から笑顔と共に離れていき、学院における初めての茶の湯体験は終了しました。

以前、あるところで、次のような文章を読んだことがありました。「茶の湯とは主と客との抹茶を介した精神交流である。そのため主は様々な気配り、もてなしをして、ただただ茶が美味しくなるようにと模索し、客はその心遣いを隅々まで感じとりながら茶をいただく。このように茶による主客一体を目指すことが茶の湯である。」

このたびの体験のあと、この文章がとも自然に胸におちました。



「人にしてもらいたいと思うことをしなさい。」

マタイによる福音書7章12節

《7月の聖句》人を思いやる大切な心の教えです。



**2017年度
入学式
4月10日**

サクラサク、4月10日(月)。本年度は、幼稚部2名、小学部3名、高等部普通科2名、高等部専攻科生活科4名、高等部専攻科保健医療科1名、高等部専攻科理療科4名の合計16名の新生が横浜訓盲学院に入学しました。これまでの生活であまり聞く機会がなかったであろう賛美歌と、初めて聞く校歌に戸惑いながら



も、一所懸命歌おうと歌詞を目で追ったり口ずさんだりする姿に、初々しさと同時に学校に早く馴染もうとする強い意気込みの一端を感じずにはいられませんでした。

さて、新入生の中には全くの新しい環境でのスタートとなる方もいます。勉強面や生活面に関して緊張や不安が少なくないと思います。ですがみなさんには、これから卒業まで共に学び、励まし合い、切磋琢磨し合える友人・仲間ができることと思います。そして、頼りになる温かい先輩方もいます。つまり、一人ではないのです。共に一歩ずつ歩みを進めていただきたいと切に願っています。

**中学・高等部
春の遠足
5月10日**

5月10日(水)にお台場のソニーエクスプローラサイエンスへ行ってきました。生徒たちは楽しみにしていた遠足で、行きのスクールバス内でもみんなが歌をうたって盛り上がり、車窓

からの風景を眺めて楽しんだりしながら向かいました。

館内には、音や光などを使った面白い展示物がたくさんあり、生徒それぞれ楽しむ姿がみられました。中でも“ホロウォールテーブル”という、手で形作った影絵がCG画像で動き出す展示物は、多くの生徒が興味をもって取り組んでいました。影絵が上手に認識されるとワニや鳥などのCGに変化し動き出すのですが、その様子がとてもおもしろかったようです。

昼食はダイバーシティ東京の休憩スペースで食べました。美味しいお弁当を食べ、その後はおやつタイム!友だちや先生と持ってきたお菓子を交換しながら、たくさんのお菓子を味わいました。

当日は小雨が降っている中での出発でしたが、お昼には雨も上がり、食後に少しだけ海の風を感じることができました。



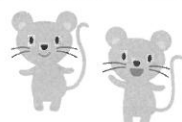
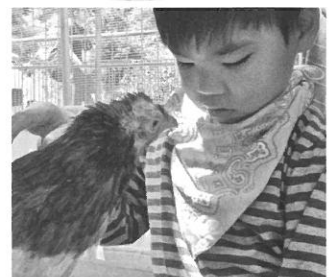
**幼小グループ
社会体験学習
5月12日**

5月12日(金)、恒例の野毛山動物園へ動物とふれあう社会体験学習に行ってきました。当日は、幼稚園や小学校などのたくさんのおともたちが来園していて、大盛況の野毛山動物園でした。

とても良い天気で、日向は暑かったものの、日陰を歩くとうるましく、人波を避けながら、道を選んで園内を歩きました。鳥のさえずりが聴こえてきたり、クマやペンギン、ライオンの銅像を触ったりしながら、園内をゆっくりと散策して、メインのなかよし広場に向かいました。

動物タッチコーナーのなかよし広場では、モルモット、ハツカネズミ、ニワトリに触れる体験をしました。優しい飼育員のお兄さんに動物の触り方を教えてもらいながら「ナデナデ」と優しく触れ、頬を近づけたり、ブラシをかけてあげたりもしました。

動物たちとのふれあいを、子どもたちはそれぞれ自分なりに楽しむことができました。



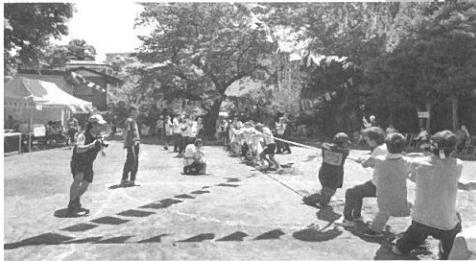
運動会

5月27日

5月27日(土)、晴れやかな天候の下、運動会が行われました。

毎年かわいい衣装が特徴的な幼小グループの「かっぱおぼダンス」、色鮮やかな布を使った小学部の「小学部ルンバ」、フラッグ

の動きがぴったり合った中学・高等部の「横浜訓盲BOYS&GIRLS」、工夫を凝らした演技を見せてくれた生活科の「二人セゾン」など、素晴らしい演技が見られました。また、息の合った理療科の二人三脚も笑いありで、とても楽しいものでした。鉄線走では、児童・生徒達が白熱した競争をみせてくれました。応援に来て頂いた方々、暖かいご声援ありがとうございました。



◎2017年の主な行事予定◎

- 7月** 21日(金)～8月25日(金) 夏休み
- 8月** 28日(月) 授業開始
- 9月** 15日(金) 幼小グループ 秋の遠足
理療科 学校見学会
26日(火) 創立記念日(創立128周年)
28日(木)～30日(土) 小学部・中学部 修学旅行
30日(土) 学校開放(移動動物園)
- 10月** 6日(金) 前期終業式
10日(火)～11日(水) 秋休み
12日(木) 後期始業式
18日(水) 中学・高等部 秋の遠足
20日(金) 幼小グループ・小学部 合同遠足
- 11月** 2日(木) 理療科 解剖見学
3日(金) 普通部 保護者参観日
普通部 学校公開
18日(土) PTAバザー
- 12月** 2日(土) 普通部 第1次入学検定
16日(土) 神奈川県盲学校サウンド・テーブルテニス大会
23日(土) クリスマス礼拝・祝会
理療科 学校見学会
26日(火)～1月5日(金) 冬休み

思うツボ

暑湿の邪気

夏は一年でいちばん体力を消耗する季節です。この時期、東洋医学において人は暑邪(しょじゃ)におかされやすく、同時に蒸し暑い日本では湿邪(しつじゃ)を伴う「暑湿の邪気」に注意が必要です。外が暑いので部屋の中が冷えていても、つい冷たいものを食べてしまいがちです。そのため内臓の働きが低下しやすくなり、夏バテの原因になってしまいます。そこでおすすめ食材は枝豆です。今では一年中スーパーで見られるようになりましたが、枝豆は6月から9月頃が旬になります。枝豆は「ビタミンC」、「鉄」、「タンパク質」が豊富で、弱った胃腸を活発にし、疲労回復のほか、夏のお肌にも嬉しい野菜です。そのまま塩をふって食しても良いですし、サラダ、揚げ物、スープなどで積極的に取り入れたいですね。

臨床実習のご案内

当学院では授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり灸の臨床(治療)を行っています。是非ご利用下さい。



★あんま・マッサージ・指圧・はり灸★
[水・木・金曜日]

料金 一律 1000円 時間 前半 9:50～(各50分ずつ) 後半 10:50～

- ◆ご予約はお電話で! 当日の朝 8:45～9:10
電話 090-9009-5882
- ◆お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

視覚障害

ミニ知識

「今も続く鉄道ホームでの事故を減らすために」

ここ数年、視覚障害者が駅のホームから転落する事故が多くありました。駅のホームには線路側の内側に警告ブロックが敷かれていますが、視覚障害者が方向を見失うと、ホームの内側と外側の区別がつかず、誤って転落する危険性がありました。「危険ですからホームの内側をお歩きください」というアナウンスはありますが、どちらが内側かわからないという声も多くあります。

国土交通省は2011年、一日の利用客1万人以上の駅については、ホームの内側に線状突起を加えた内方線付き点状ブロックを可能な限りすみやかに設置を進めることを要請しました。

「内方線付き点状ブロック」とは、警告ブロックの片端に誘導ブロック1本を組み合わせたもので、視覚障害者が線路のある方向を認識しやすくするものです。利用者が多い横浜駅や桜木町駅、大船駅などは、すでに敷設されています。早くすべての駅に設置されるといいですね。

2016
年度
(平成28年度)

賛助金・寄附金並びに寄贈品・ご招待の御礼

平素より、本学院の視覚障害教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2016年度(2016年4月1日～2017年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

〔賛助金〕ご芳名(50音順、敬称略)

(個人)

秋山修一(秋山眼科医院)、阿佐光也、荒井勝彦、飯塚泰治、巻岐良夫、池田侑子、石井和子、井田洋一郎、伊藤顕司、今村創太、今村謙、今村朋子、今村美保、岩永英治、岩本日出雄、江藤潔、榎並とし子、越猪勝弘、大越翔太、大島杏奈、小笠原啓、奥津勉、沖野佳子、貝嶋麗奈、片岡文子、堅田浩巳、片山恵美子、加藤久枝、北村光之、菊島紘子、小坂橋逸史郎、古賀裕子、小菅訓子、小林誠治、西城豊、佐藤正幸、志賀智江、柴田昌一、柴田寛昌、新藤啓二、鈴木晴子、高橋晃樹、田中純子、田中信次、田中房子、田沼圭介、土屋博、津布工浩、手塚博子、寺島佐知江、徳永ますみ、中澤潤子、中澤恵江、中澤泰明、中山勝矢/中山貞子、野村公介/野村里美、長谷川知之、長谷川光正、埴将一、兵頭悦子、深澤和子、藤森和子、古旗誠、細田道子、正岡幸伸、丸山恵子、水谷年江、武藤嶺子、棟広隆、村瀬統一、孟学琳、森下ヨシ子、森田厚、森田昌史、森谷すみ、安順子、和田紀彦、矢野榮子、矢野豊、矢野雅文、山中正子、山中幸也、吉澤美智子、吉濱優子(白梅いずみ幼稚園園長)、吉見章歩、依田康子、和田航平/和田美樹、渡辺千春、渡部清

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川支部、宗教法人霞ヶ丘教会、宗教法人基督兄弟団横浜教会、チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団篠原教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団浦和東教会、日本基督教団大船教会、日本基督教団鎌倉教会、日本基督教団久里浜教会教会学校、日本基督教団小岩教会教会学校、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団辻堂教会、日本基督教団田園調布教会、日本基督教団西千葉教会、日本基督教団聖ヶ丘教会、日本基督教団松戸教会、日本基督教団翠ヶ丘教会、日本基督教団目白教会、日本基督教団目白教会 婦人会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜上原教会 婦人の会、日本基督教団横浜大岡教会、日本基督教団横浜港南台教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団六角橋教会、日本聖書神学校学生自治会、日本バプテスト厚木教会、日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会、野毛山キリストの教会

(学校関係)

青山学院初等部、青山学院幼稚園保護者会、厚木幼稚園、かえて幼稚園、片瀬のぞみ幼稚園、一般財団法人神奈川県私立学校中学高等学校協会、上星川幼稚園、関東学院のびのびのびの園、関東学院六浦小学校、関東学院六浦中学校高等学校、菊名愛児園、鷗沼めぐみルーテル幼稚園、呉竹鍼灸柔整専門学校、相模翠ヶ丘幼稚園、早苗幼稚園、サレジオ学院幼稚園、捜真小学校、捜真小学校PTA、捜真女学校高等学部・捜真女学校中学部、ドレーパー記念幼稚園、日本聾話学校、フェリス女学院大学奨学会、フェリス女学院中学校・高等学校バザー部門、横須賀学院、横浜愛隣幼稚園、横浜英和学院、横浜学院幼稚園、横浜訓盲学院PTA、横浜三育幼稚園、横浜女学院中学校高等学校、横浜雙葉小学校、横浜雙葉中学・高等学校、YIS English Group

(その他団体)

アंकベル・ジャパン(株)、株安藤・間 横浜営業所、(有)今村塗装工業、(株)オーチャー、(株)大山組建材、(株)加藤機器製作所、神奈川韓国青年商工会、株神奈川クッキングサービスセンター、神奈川県眼科医会、木嶋書店、株協同ビルテック、株仁友社(MJデザイン研究所)、株清光社、株泰山園、株ダスキン横浜、テクタイト(株)、東洋観光(株)、日興テクノス(株)、株ファンケル、ファンケルもとなにかできるはず基金、有増山住設、株松本木工、マリフラワー川上教室、宮崎ピアノ工房、森島建興(株)、(有)ヤマキ文具店、横浜関内ライオンズクラブ、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、株吉田電機

〔特別寄附金〕

(財みずほ教育福祉財団)

《賛助金》4,679,928円

《特別寄附金》500,000円

《合計》5,179,928円

〔現物寄附〕(50音順、敬称略)

合資会社中山光学堂(拡大読書器2台)
公益財団法人ベルマーク教育助成財団(拡大読書器1台)
平成27年度理療科卒業生(音楽CD5点)

〔その他寄贈品〕(50音順、敬称略)

赤堀智見、株安藤・間 横浜営業所、稲垣卓三、株オーチャー、株大山建材、花王(株)、川野太郎、サントリービバレッジサービス(株)、NPO法人視覚障害者芸術活動推進委員会 ギャラリーTOM、株ジャパンビバレッジセントラル、公益財団法人すこやか食生活協会、鈴木仁、株ゼネラルアサヒ、社会福祉法人全国心身障害児福祉財団、仙良菴、株泰山園、田口謙吉、田口三津子、田中房子、土屋博、TBSラジオ編成局編成部、点友会 石津 利幸、東京ガス(株)、公益財団法人東京都盲人福祉協会、富田香(平和眼科)、株ニッポン放送、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団、社会福祉法人日本点字図書館、日本放送協会、社会福祉法人日本ライトハウス情報技術センター、ねむの木学園、発砲印刷やまゆりの会、NPO法人藤枝光文庫、文化放送、本田宗一郎さん点字かるたづくりの会 ポンポンCLUB浜松 宮地武夫、毎日新聞社、明治国際医療大学 鍼灸学部 伊藤和憲、NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター、社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会、宗教法人霊波之会、渡部清

〔ご招待〕

神奈川県遊技場協同組合/神奈川福祉事業協会

〔奉仕活動〕

横浜南央ロータリークラブ 花壇整備

ご協力をお願い
2017年度
(平成29年度)
賛助会員

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしく願い申し上げます。

【年会費】法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)

【お支払い方法】・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金

【その他】会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

寄付金控除については「所得控除制度」と「税額控除制度」のいずれかの制度をご利用いただけます。

【お問い合わせ】横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626